

## 基礎看護学Ⅳ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

対象の看護ニーズに適した看護を展開するための基盤となる看護過程について学ぶ。看護の実践を支える多くの理論がある。それぞれの看護理論はどのように看護の対象を捉え、看護そのものを捉えているのか、紐解いていく。そこから看護のアセスメントの視点を見出し、看護ニーズの査定方法の立案、実施および評価の過程にそって看護を論理的に進める方法を理解する。

### ・教育成果（アウトカム）

看護の実践を支える多くの理論があるが、その理論から導き出される看護の視点を理解できる。対象の状況や各看護領域によって、アセスメントの優先度も異なることから、事例でのグループワークを通して看護過程を展開し、看護過程と看護理論の関係について説明できるようになる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5

### ・到達目標（SBO）

1. 根拠に基づいた看護を提供することの必要性を説明できる。
2. 主要な看護理論について説明できる。
3. 看護を展開する際に、理論や概念を活用する意義と方法について説明できる。
4. 看護過程とは何かについて説明できる。
5. 対象理解のための情報収集について説明できる。
6. 収集した情報を科学的根拠に基づいてアセスメントする方法を説明できる。
7. 対象者のより良い健康状態をめざすために必要な専門知識の活用を説明できる。
8. 看護ニーズを明確化し、優先順位を決定する方法を説明できる。
9. 看護目標を設定し、具体的に計画立案・実施する方法を説明できる。
10. 実施した看護を評価する方法を説明できる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/17	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護の対象に着目した基礎理論 (人間のニーズに焦点を当てる・ヘンダーソン、オレムから)  ・人間の基本的ニーズから捉える看護についてポイントをあげることができる
9/28	月	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護の対象に着目した基礎理論 (ストレス・対処・適応をみる)  ・ストレス・対処・適応の視点から捉える看護についてポイントをあげることができる
10/2	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護の対象に着目した理論 (家族に着目する)  ・家族支援のための家族の捉え方を看護の視点から述べることができる
10/22	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護援助に着目した基礎理論 ケアリング、ウェルネス・強みを生かす、環境要因(ソーシャルサポート等)への働きかけ  ・看護援助にあたりケアリングや強み、ソーシャルサポートの重要性を述べることができる
10/23	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護過程展開の基本①  ・アセスメントガイドラインを用いた情報の整理のポイントをあげることができる
10/30	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護過程展開の基本②  ・実践の方法としての看護過程の段階、とくにアセスメント・看護上の問題・強みの意味について説明することができる

11/6	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護記録について ・看護記録の目的・意義、法的規定について説明することができる
11/13	金	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	事例を用いての看護過程の展開① ・提示された事例の看護過程のポイントをあげることができる
11/19	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	事例を用いての看護過程の展開② 紙上事例の看護過程の展開① 「個人ワーク」 ・提示された事例について記録用紙に沿ってアセスメントから関連図まで整理することができる
11/27	金	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	紙上事例の看護過程の展開② 「個人ワーク」 ・提示された事例について記録用紙に沿ってアセスメントから関連図まで整理することができる(次回までに)
12/4	金	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	紙上事例の看護過程の展開③ 「グループワーク」 ・グループワークでアセスメント、関連図までを個人ワークで作成したものを基に検討しまとめることができる
12/11	金	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	紙上事例の看護過程の展開④ 「グループで検討その後個人ワーク」 ・グループワークで作成した関連図についてコメントを基に看護問題の明確化、強み、看護計画を個人ワーク及びグループで作成することができる
12/17	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	紙上事例の看護過程の展開⑤ 「グループワーク及び発表」 ・個人ワークの内容をグループワークでまとめ、小グループ毎に発表し、評価の視点に基づいた自己評価他者評価を行うことができる

12/18	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	紙上事例の看護過程の展開⑥ ・提出された個人、グループの記録から補足説明されたこと、クリニカルシンキングかの説明から自己及びグループの記録の課題を見出すことができる  新たな紙上事例を用いた看護過程の展開 ・事例の状況がイメージでき、情報の整理から看護計画まで、個人ワークをすすめることができる
1/6	水	2	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	事例に基づく看護過程のまとめ ・自分が考えた看護過程の不足あるいはよかった点などをふりかえることができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 第 17 版	茂野香おる編集	医学書院	2020
教	基礎看護技術 I 第 5 版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2017

・成績評価方法

定期試験 70 点、グループワークの参加度・まとめ 10 点、個人ワーク課題 20 点の合計 100 点とする。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

前半の看護理論については、次回授業までに復習を行い理解した上で授業に臨むこと。看護過程のグループワークの事前学修においては、同時期に履修する解剖学・生理学・病理学の復習を丁寧に行うこと。グループワークの場合、各自が事前学修を実施していることを前提にすすめるので、必ず自己学修を踏まえた考えを記録して臨み、有効なディスカッションをすること。各授業について、最低 30 分の事前学修を要します。

授業終了後は、ノートと教科書・配付資料等を用いて積極的に自己学修を行い、知識と理解の定着に努めること。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

授業内で課すグループワークのまとめやレポートは、個々ではなく全体として集約し、その内容を資料として配布し次回の授業で解説する形でフィードバックする。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野 I 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影